

07

東広島市地域学習用デジタルコンテンツ 「のん太の学び場」開発プロジェクト

- 採択枠・採択事業名：①TRC-ADEAC株式会社，②受託事業「社会科副読本「わたしたちの東広島市」をベースにした小学校社会科デジタルコンテンツ制作業務」（研究代表者：草原和博）
- 連携・協力機関：東広島市図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター
- 実施期間：①2018年8月3日から2019年3月31日，②2019年6月21日から2021年3月31日
- プロジェクト監修：草原和博，大坂遊
- 企画・制作：守谷 富士彦（2018/2019），大坂遊・宇ノ木 啓太・吉田純太郎（2020）
- コンテンツ制作者：守谷 富士彦・正出 七瀬（2018/2019/2020），篠田 裕文（2018/2019），宅島 大亮・小栗 優貴・両角 遼平（2019/2020），青本 和樹・高見 史織（2018），村田 翔・横川 知司（2019），鈺 悠介・岩佐 佳哉・玉井 慎也・青木 理恵・桃原 研斗・岩崎 泰博・瀬谷 敦之（2020）



Overview — 概要

東広島市の社会科副読本「わたしたちの東広島市」の内容理解を深めるためのインターネット上のwebサイト
子どもの一人学びの読み物としても、学校の授業の補助教材としても活用できます

Features — 「のん太の学び場」5つの特徴



◀「学習のびき」はこちら

- 特徴01 東広島市の魅力と課題を考える **30のキーワード** を取り上げます
- 特徴02 「のん太の学び場」を起点として、**図書館とリアルな地域・社会** を行き来できます
- 特徴03 広島県が推進する「**課題発見・課題解決**」学習のモデルを提案します
- 特徴04 新学習指導要領を踏まえて、**児童・生徒が持続可能な社会の創り手となる**ことを支援します
- 特徴05 **子どもの自由研究** や **市民の生涯学習の場** としても利用できます

Keywords — 取り上げる30のキーワード



※ 西条・八本松・高屋・福富・災害から身を守る・ふるさとの味・外国人市民・産業団地・水道料金・オオサンショウウオは2020年度完成予定

Applications — 開発したデジタルコンテンツの活用

東広島市立中央図書館で公開記念講座

2019年9月23日と2020年8月15日にセミナーを開催。小学校3年生～6年生が「のん太の学び場」と図書館の本を使って東広島市の「なに?」「なぜ?」を追求していく学習講座です。



◀ 講座に参加して作品を作った子どもには受講証が授与されます。講座に継続参加してくれている子どももいます。

コンテンツを作った学生がサポートしてくれるので、理解が深まります



児童向けのオンライン学習講座の実施

2020年3月16日と4月2日に、「のん太の学び場」を活用したオンライン講座を開催。初回の講座には小学校3年生～6年生の7名が参加し、西条町周辺を循環する「のんバス」の特徴について学習しました。



◀ 子どもはEVRIの教室に集まる、もしくはオンライン会議システム「zoom」を用いて自宅からも参加しました。

大学院生が実際に「のんバス」に乗って実況中継。オンラインの強みをいかして、間接体験の機会をつくりました。



教員免許更新講習の実施

2020年8月12日に、「のん太の学び場」を活用した教員免許更新講習を実施。講習では、東広島市内の小学校に勤務する教員が主導して「のん太の学び場」を活用した3つの授業プランが構築されました。



◀ 午前は「のん太の学び場」を、児童の目線に立って実際に使ってみました。東広島に関する理解を深めました。

午後は教師の目線に立って、様々な教科・領域における「のん太の学び場」の多様な活用法を考えました。



Development — 今後の発展

今後は「のん太の学び場」を使って小学校への出前講座を実施します。外国人市民向けの特別講座も企画していきます。

本プロジェクトの詳細はこちら▶



Outputs — 成果

- 守谷富士彦, 大坂遊, 篠田裕文, 青本和樹, 高見史織, 正出七瀬 (2020) 「探究的な学びを支援する社会科地域教材用デジタルコンテンツの開発と活用: 「のん太の学び場」と東広島市立図書館連携講座の場合」『学校教育実践学研究』 第26巻, pp.59-69
- 守谷富士彦, 大坂遊, 草原和博, 村田翔, 横川知司, 宅島大亮, 両角遼平, 篠田裕文, 正出七瀬, 鈺悠介「探究的な学びを支援する社会科地域学習用デジタルコンテンツの開発と活用(2): 「のん太の学び場」の特性を活かしたオンライン学習の類型化とその試行」(投稿中)